



## A コマンド

---

この章では、A で始まる Cisco NX-OS 仮想ルータ冗長プロトコル（VRRP）コマンドについて説明します。

# address (VRRP)

仮想ルータに 1 つのプライマリ IP アドレスを追加するには、**address** コマンドを使用します。仮想ルータから IP アドレスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**address** *ip-address* [**secondary**]

**no address** [*ip-address* [**secondary**]]

## 構文の説明

<i>ip-address</i>	仮想ルータのアドレス (IPv4)。このアドレスは、インターフェイス IP アドレスと同じサブネット内になければなりません。
<b>secondary</b>	(任意) セカンダリ仮想ルータのアドレスを指定します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

仮想ルータごとに 1 つずつの仮想ルータ IP アドレスを設定できます。設定された IP アドレスがインターフェイス IP アドレスと同じである場合、このスイッチは自動的にその IP アドレスを所有します。設定できるのは IPv4 アドレスのみです。

仮想ルータはパケットを転送するネクストホップ ルータとしての役割のみを目的としているため、マスター Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP; 仮想ルータ冗長プロトコル) ルータは仮想ルータの IP アドレスに宛てられたパケットをドロップします。NX-OS デバイスでは、一部のアプリケーションは、仮想ルータの IP アドレスに宛てられたパケットを受け入れて配送することを要求します。仮想ルータ IPv4 アドレスに対して **secondary** オプションを使用することによって、VRRP ルータは、マスターの場合、これらのパケットを受け入れます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、仮想ルータの IP アドレスを設定する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# address 10.0.0.10
```

次に、1 つのコマンドを使用してすべての IP アドレス (プライマリおよびセカンダリ) を削除する例を示します。

```
switch(config-if-vrrp)# show running-config interface ethernet 9/10
```

```
!Command: show running-config interface Ethernet9/10
!Time: Mon Apr 14 06:04:18 2008
```

```
version 5.0(3)N1(1)

interface Ethernet9/10
  vrrp 1
  address 10.10.10.1/24
  no shutdown

switch(config-if-vrrp) # no address
switch(config-if-vrrp) # show running-config interface ethernet 9/10

!Command: show running-config interface Ethernet1/5
!Time: Mon Apr 14 06:07:54 2008

version 5.0(3)N1(1)

interface Ethernet9/10
  no switchport
  vrrp 1
switch(config-if-vrrp) #
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>clear vrrp</b>	指定の仮想ルータの全ソフトウェア カウンタを消去します。
<b>show vrrp</b>	VRRP 設定情報を表示します。
<b>vrrp</b>	VRRP グループを設定します。

# advertisement-interval (VRRP)

同じグループ内の他の Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP; 仮想ルータ冗長プロトコル) ルータに送信されているアドバタイズメント パケット間で時間間隔を指定するには、**advertisement-interval** コマンドを使用します。1 秒のデフォルト間隔値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**advertisement-interval** *seconds*

**no advertisement-interval** [*seconds*]

## 構文の説明

<i>seconds</i>	送信されるアドバタイズメント フレーム間の秒数。IPv4 の場合、範囲は 1 ~ 255 秒です。
----------------	---

## コマンド デフォルト

1 秒

## コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

VRRP アドバタイズメントは、仮想ルータ マスターのプライオリティと状態を伝達します。アドバタイズメントは IP パケットにカプセル化され、VRRP グループに割り当てられる IPv4 マルチキャストアドレスに送信されます。

VRRP は、VRRP アドバタイズメント専用の Internet Assigned Numbers Authority (IANA; インターネット割り当て番号局) 標準マルチキャストアドレス (224.0.0.18) を使用します。このアドレッシング方式によって、マルチキャストを提供するルータ数が最小限になり、テスト機器でセグメント上の VRRP パケットを正確に識別できるようになります。IANA で割り当てられた VRRP IP プロトコル番号は 112 です。

## 例

次に、VRRP グループ 250 に 200 秒のアドバタイズメント間隔を指定する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# advertisement-interval 200
switch(config-if-vrrp)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear vrrp</b>	指定の仮想ルータの全ソフトウェア カウンタを消去します。

コマンド	説明
<b>show vrrp</b>	VRRP 設定情報を表示します。
<b>vrrp</b>	VRRP グループを設定します。

# authentication (VRRP)

Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP; 仮想ルータ冗長プロトコル) の認証を設定するには、**authentication** コマンドを使用します。認証をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**authentication text** *password*

**no authentication** [*text password*]

## 構文の説明

<b>text password</b>	英数字で最大 8 文字の単純なテキスト パスワードを使用するように選択します。
----------------------	---

## コマンド デフォルト

認証なし

## コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、VRRP に MD5 認証を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# authentication text mypasswd
switch(config-if-vrrp)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear vrrp</b>	指定の仮想ルータの全ソフトウェア カウンタを消去します。
<b>show vrrp</b>	VRRP 設定情報を表示します。
<b>vrrp</b>	VRRP グループを設定します。